

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年11月17日（木）5時間目

## 薬剤師による講座

有限会社 久米薬局

代表取締役 草野 明子 様

講座では、薬剤師の役割・専門性、介護保険・医療保険制度でのサービス提供、多職種連携についてお話いただきました。

「地域包括ケアシステム」では、地域の絆や医療・介護・行政・民間等の横のつながりが大事になっていることや、そのなかでの薬剤師の仕事は「医薬品の適切な供給」「国民の安全な生活を守るために公衆衛生を司ること」「疾病予防、健康増進、啓蒙活動」等の幅広い活躍の場があることを学びました。都会と比べ地方は交通が不便ですが、地域包括ケアシステムが機能している地方では、在宅医療の連携体制が整っており、SNSを使ったツールや連絡ノート等で情報の共有がされ、専門性の高いサービスが提供されていることを学ぶことができました。また、多職種連携では「地域連携薬局」という、病院や施設、在宅で薬の残薬等の情報共有ができ、患者さんや支援者にとっても安心できる仕組みがあることを学ぶことができました。さらに、草野先生が実際に携わった取り組みについてお話くださり、多職種とチームで支援した事例では「本人の希望をしっかりと聞いておくこと」や災害時に避難所に薬を届ける際に、地域の常会長さんと連携をとって住民の情報を得、支援に繋げた経験から「日頃から声をかけ合うこと」が地域包括ケアシステムの基礎だということを知ることができました。



今回が、多職種の外部講師の先生から学ぶ最後の講座となりました。今までの学びを踏まえ、生徒からは「役割・専門性、活躍の場について自分が知らないことばかりでとても勉強になった」「多職種連携がどのくらい大切なのか改めて理解することができた」「地域の繋がりを大切にしていきたい」「在宅医療では、信頼関係が大切になってくると思った」との感想がありました。

ご指導、ありがとうございました。